

36

徳島県

J Aあわ市購買事業 における営農渉外員の 役割について

阿波市農業協同組合

横山 浩祐 <よこやま こうすけ>

▶はじめに

- どのJAでも経済活動は**厳しい状況**が続いている。
- 令和3年度に3JAが合併し、**JAあわ市**となり大きな変革を迎えた。

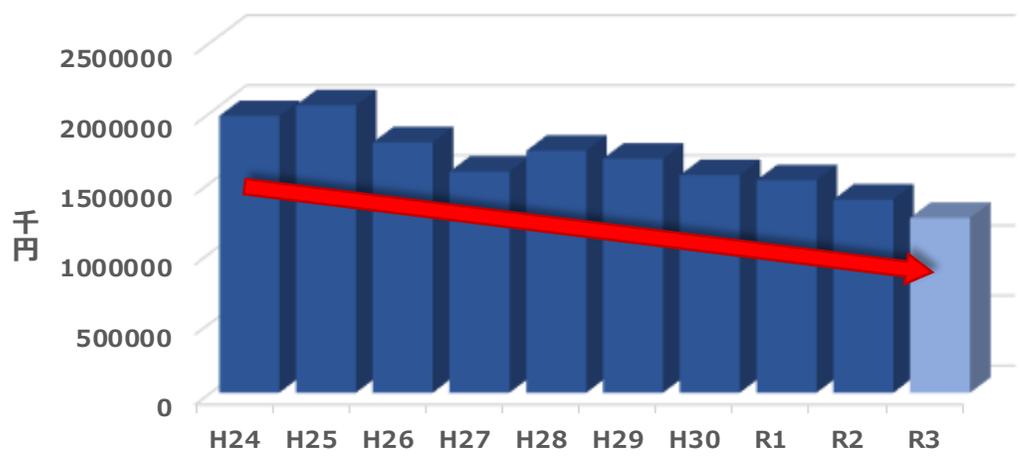


厳しい状況を打破するため
『**営農経済渉外員**』が重要となってくる。

▶ J A あわ市の現状

購買品供給高の推移

J A あわ市 購買品供給高の推移



購買品供給高は年々 **減少傾向**

管内総農家数：年々 **減少傾向**

購買品供給高の低下



基盤強化のため支所統廃合
(人員削減)



サービスの低下



購買品供給高の低下



▶ J A あわ市の現状

現在、J A あわ市では **営農経済事業改革** を進行中

- ① 営農経済センター（仮）の設置
- ② 農家個別配送事業の展開
- ③ **営農経済渉外** の設置



この **営農経済渉外** をより活かしていくこと

= 購買品供給高の改善 につながるのでは！

▶ J A あわ市の分析

3 C分析

顧客・市場 (Customer)

- ・ 正/准組合員
- ・ 地域の消費者
- ・ (市場) 多数の企業が参入
- ・ (消費者) 品質志向から低価格志向へシフト
- ・ (組合員/消費者) 省力化
- ・ (組合員/消費者) 超高齢化
- ・ (組合員/消費者) オンライン等での購入増加

競合他社 (Competitor)

- ・ コメリ/DCM (ホームセンター)
- ・ (ホームセンター) 扱う品数の多さ、融通が利く
- ・ **安価な肥料を扱う企業が管内に多数存在**
- ・ 各企業店舗数は J A より少ないが競合全体を合算すると大多数。

自社 (Company)

- ・ 地域に根差した組織 (多くの農家を内包)
- ・ 3JAで合併して2年目
- ・ 営農経済改革の策定
- ・ **購買品供給高の減少傾向**
- ・ 正組合員の減少傾向
- ・ 支所統廃合による人員減少
- **結果、購買課の人員減少**

▶ 課題の抽出

3 C分析から見える主な **課題** は

- ➡ ① **商系業者**の攻勢（外部環境）
- ➡ ② **専門的知識**を持った J A 職員の減少（内部環境）
- ➡ ③ 組合員との **信頼関係構築**が不十分（内部環境）

この3点に着目し、

営農経済渉外の強みを掛け合わせて改革を進める

▶ 改革案

1. 系統利用の低い/利用していない組合員 へのアプローチ

- ① 組合員宅への「積極」訪問
- ② 綿密な 意見交換（相談・要望・生育状況等の聴取）
- ③ 意見/相談をもとにした 適切な 肥料/農薬の推進
- ④ 手厚い アフターケア

①～④の徹底化と定着を図るため

営農経済渉外の 共通意識/スキルアップ が必須

ここが
改革！



営農経済渉外に対する 専門研修（OFF-JT）を継続実施



組合員情報および自身のスキルを共有するための

『チームミーティング』を定期的（1回/1週間）に実施

▶ 改革案

2. 指導を基軸にした **総合推進**

- ① 営農相談や推進（特に農機などの固定資産がらみ）の際、
補助金や融資の話になることを前提に **事前準備を各部署と相談**。
- ② 補助事業の活用や融資を **こちらから提案** し、有利な農業展開ができるよう支援。
- ③ 活用するなら **補助事業の書類作成** から **経営/営農計画の作成支援**。
- ④ 補助事業の完了まで **寄り添った支援/補助** を実行。

補助事業関連は行政（県）/融資等は **関係部署との連携** が非常に重要

ここが
改革！

『対外的/対内的 関係をより強固にする活動』

情報交換を踏まえた県普及員および関係部署担当者との
意見交換および親睦を深める研修に参加（中央会等主催の研修）

各部署のもっている資源（組合員情報）の **共有化**

▶ 改革案

3. モチベーションを保った 営農経済渉外員の育成

- ① JA全農とくしまと連携し、**専門的知識を備えた職員** の育成
- ② **外部研修を活用** したコミュニケーションスキルの高い職員の育成
- ③ 上記のスキル獲得により **相談機能に重心を置いた** 営農指導の実現
- ④ 「ただの営農経済渉外員」から **「なりたい/求められる営農経済渉外員」** へ

様々な研修を受講し知識/姿勢の熟成した職員となることで
職員からは やってみたい部署、組合員からは 求められる人材になる。

ここが
改革！

JA全農とくしまなど専門家の集まる組織への **出向/業務連携**
を行うことでスキルアップに繋げる。
知識を付けることで **自信** につながり、自信を持つことで **やりがい** へ。

▶ 改革案

- ・JAあわ市において営農経済渉外は大きな役割を担っている。
- ・現在の組織に顕著な部署の縦割りに横串を入れ連携強化をする必要もあり、内向きにも外向きにも重要な存在だと言える。
- ・この改革案を通じて協同組合の最大の目的である『相互扶助』の精神と昔ならではの『組合員とのつながり』を改めて確固たるものとする。

地域農業の発展に『営農経済渉外員』あり！